# 高齢高齢者肺炎球菌感染症 予防接種にあたっての注意事項

#### 【接種を受けるとき】

接種にあたり、健康状態をよく把握する必要があります。予診票は正確にご記入ください。 もし、普段と変わったことがあった場合には、問診・診察の際に医師にご相談ください。 (当日の体温が普段より高めである場合など)

## 【接種を受けることが適当でない方】

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種をさけてください。

- ① 明らかに発熱している方(通常は37.5℃以上の場合)
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方
- ④ 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方

### 【接種の判断を行うに際し、注意を必要とする方】

健康状態及び体質を考慮して、次のいずれかに該当すると認められた場合には、注意して接種を受ける必 要があります。(※接種医にご相談ください。)

- ① 心臓血管系疾患・腎臓疾患・肝臓疾患・血液疾患等の基礎疾患を有することが明らかな方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を起こした ことがある方
- ③ 過去にけいれんの既往のある方
- ④ 過去に免疫不全と診断された方又は近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
- ⑥ 接種当日の体温が通常より高い場合は、医師にご相談ください。

#### 【ワクチン接種後の注意事項】

接種をした部位が赤くなったり、腫れたり、痛んだり、軽い発熱などが起きることがあります。もし、異 常反応や体調の変化さらに高熱・けいれん等の症状があらわれた場合には、速やかに医師の診断を受けてく ださい。

接種後は、入浴しても差し支えありません。接種部位を清潔に保ってください。(ただし、注射したところ をこすらないでください。)

また、接種当日は激しい運動は避けてください。

なお、ワクチンは接種後約3週間で免疫ができ、5年以上効果が持続すると言われています。(インフルエ ンザのように毎年、接種する必要はありません。)

### 【お問い合わせ】